

## 修了式

修了式では、子どもたちに「勉強する意味」という話をしました。

「勉強なんて生活に何の役にも立たない。」と感じている人もいるかもしれません。まあ確かに大人になって日常生活に方程式を使ったり化学式が登場する人はあまり多くはないでしょう。しかし、毎日いろいろな教科を学習する中で皆さんの中に知恵がたまってきたのです。それは、覚える力とか、考える力、伝える力、表現する力、コミュニケーションする力などです。あまり実感できないですか？やっぱり役に立たないように思いますか？

では次に、役に立たないものも実は役に立つという話をしましょう。

例えば皆さんが高い山の中にかかる吊り橋を通るとしましょう。その時に吊り橋が歩く場所ギリギリしかないほどの幅ならどうでしょう？とても怖くて渡れませんよね。そう考えると橋の端っこの場所は使わないけれど必要な部分です。こういう事を『無用の用』と言います。



皆さんドーナツの穴は食べますか？食べられませんよね。だってそこは空気です。食う気があっても食べません😊。食べ物として中央に大きな穴が空いているなんて非効率的と言えばその通りです。でもそれならば、なぜ穴のないドーナツばかりにならないのでしょうか？これも無用の用を証明していると思いませんか？



こんな話もあります。古い話です。昔水道がなかった時代、ある人が毎日2つの甕(かめ)をかついで川に水を汲みに行っていました。ところが一つの甕は小さな穴が空いていて家に着く頃には水が半分ほどに減ってしまうのです。その甕は申し訳なく思い主人に言いました。『私に穴が空いているためにいつも水が半分しか運べなくてごめんなさい。』すると主人はにっこり笑ってこう返しました。『あなたは気づいていないかもしれないけど、その穴のお陰であなたが通る側にだけ草が育ち、花が咲いてい



る。私はその花を見て元気をもらい、重い水を家まで何とか運ぶことができるのだ。』

本来の目的にとってマイナスとしか思えない事でも思わぬところで役に立つことであるのです。

いま勉強に苦しんでいる人は、そのために子どもの気持ちの分かる優しい教師になれるかもしれません。病気にかかっている人こそ同じ病に悩む患者さんを励ますことができるのです。いましんどい経験をしている人も、その経験は経験値としてあなたの貴重な財産となったり、これから良い経験を重ねることで忘れ去ることができると思っています。中学生はまだ狭い世界しか知らないかも知れませんが、成長していけば世界が広がり、今は知らない楽しみや喜びに出会うことができるのです。



一人ひとりの人生はとても大切に、意味のない人生なんて絶対にありません。でも人の人生の意味はこれだ！と言うのは簡単ではありません。私（校長）はこの歳になってもその意味を探し続けています。自分の可能性を信じていつまでも成長期でいたいと思っています。それが私にとっての勉強を続ける意味かな、と思います。

4月5日にかわいい後輩が入ってきます。  
8日には、新しいクラス、新しい出会いがありますね。  
元気な顔でまた会いましょう。

